

広島県医療対策協議会ワーキンググループ会議の変更について

広島県健康福祉局

1 要 旨

「広島県医療対策協議会」のワーキンググループ会議として設置している「ふるさと卒医師等配置調整ワーキンググループ会議」を廃止し、新たに「医師配置検討委員会」を設置する。

2 経緯及び内容等

- これまで、中山間地域の医療提供体制の確保に向けて、地域卒医師等の配置について、ふるさと卒医師等配置調整ワーキンググループ会議において検討してきた。
- 一方、更なる中山間地域の医療体制の確保に向け、令和5年9月に策定された「高度医療・人材育成拠点基本計画」に基づき、地域卒医師等に加えて、大学入局医師も含めた医師の配置調整の仕組みについて、関係者で議論してきたところである。
- 具体的には、大学や県といった各人事権者が参加する場を設置し、情報共有や配置調整などを行う仕組みを構築する。

3 「医師配置検討委員会」の概要

(1) 設置主体

広島県

(2) 配置検討委員会の役割

- 県内医師の配置にかかる情報共有
- 地域卒医師等の配置調整及びキャリア支援のあり方等の検討 など

(3) 組織体制等

- 位置づけ
「広島県医療対策協議会」のワーキンググループ会議として設置

現行	移行	変更後
ふるさと卒医師等配置調整 ワーキンググループ会議	→	医師配置検討委員会
へき地医療支援機構運営委員会		へき地医療支援機構運営委員会

○ 構成員

大学、大学病院、医師会、地域医療ネットワーク拠点医療機関等、市町、県など
※現行の「ふるさと卒医師等配置調整ワーキンググループ会議」の構成機関、構成員を基に構成予定

【趣旨】

中山間地域における医療提供体制を確保するため、県内医師の適正な配置に向けて、医師配置調整を行う仕組みを構築する。

《仕組みのポイント》

①地域単位でのニーズを集約

- ・地域の拠点病院を中心とした地域医療ネットワーク単位での医療ニーズの集約・調整

②新たに「医師配置検討委員会」を設置

- ・大学、医師会、県等関係者で構成
- ・人事権者間の調整

